

J Rの業務外注化を止めるためのニュースです。感想や意見、現場の情報などをお寄せ下さい。(メール) dc-info@deluxe.ocn.ne.jp

JR東日本「グループ経営構想V」

鉄道業務の全面外注化を宣言

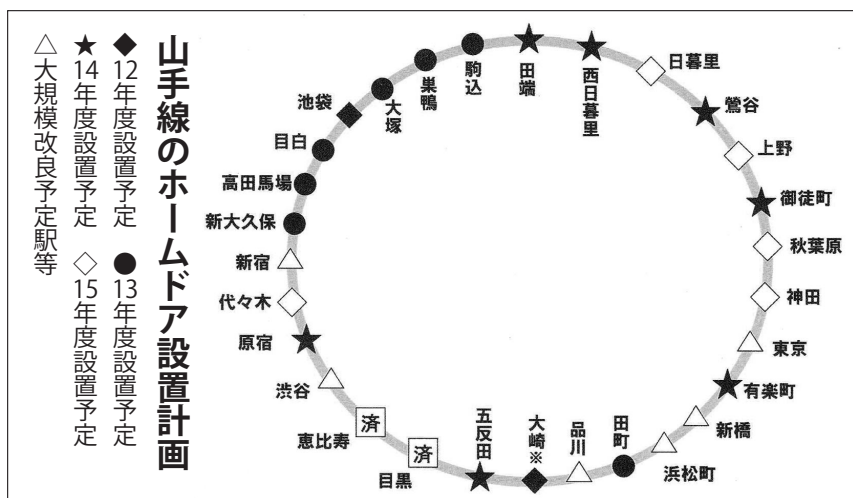
ホームから人がいなくなる!?

ホームには駅員に変わってガードマン

JR東日本は、「グループ経営構想V」（10月30日）において、「ホームにおける安全対策」と称して、15年までに山手線でのホームドアを、大規模改良予定駅（新宿、渋谷、品川、浜松町、新橋、東京）を除く23駅に設置すると発表しました。

すでに恵比

寿駅、目黒駅にホームドアが設置され、今年12月22日に大崎駅、来年3月末に池袋駅に設置されます。



大崎駅のホームには駅員に変わりに主にガー
ドマンが立つよ
うになっていま
す。これに伴い、
これまでホーム
勤務についてい
た労働者が4人

削減されようとしています。

この計画こそ、出改札業務を非正規の契約社員（グリーンスタッフⅡGS）に置き換え、駅の丸ごと外注化を進めてきたJR東日本が、本格的な駅業務の外注化に踏み込むものです。

07年にGSが導入されて丸5年。いまその数は首都圏5支社（東京、横浜、八王子、大宮、千葉）を中心に2500人にのぼっています。

もはやGSなしに駅業務が回らないにも関わらず、JR東日本は、5年目を迎えた300人のGSを雇い止めにし、また新たな非正規の契約社員を募集しています。

これは、ライフサイクルによる運転士の駅への
たらい回しと一体です。徹底したコスト削減と儲
け優先で安全を投げ捨て、非正規雇用を推進する。
これがJR東日本の姿です。

10年間で正社員を1万7千人も削減！

05年時点で、首都圏では70カ所、東日本全体では200カ所の駅が委託されました。千葉では千葉駅以东のほとんどの駅が委託化されています。

J R東では、2000年に7万6840人いた社員が11年には5万9650人になり、1万7千人も削減されました。今後5年で1万人が退職予定です。こうした中でJ R東日本は、鉄道業務の丸投げ外注化を推進しようとしているのです。